



横浜シーサイドハムクラブ広報誌

「しぐなる」

2024 年版

巻末付録 クラブ 40 周年記念
オススメ移動地 27 か所を紹介



移動運用 StyleBook 2024

無線機持って海に山に！ この1年の移動を振り返る！

横浜シーサイドHAMクラブ(JJ1ZB0)と横浜市役所無線クラブ(JH1ZCT)の共同企画、富士山移動運用が実施されました。当会は 40 年間一貫して移動運用の楽しさを追求し、単に無線運用だけでなく、登山、BBQ、キャンプ、花見などのお楽しみも交えた移動運用で楽しんできましたが、富士山での運用は実は初めてでした。

横浜市役所無線クラブの登山のベテランのお力を借りながら無事登頂し運用することができましたのでその様子を巻頭でお伝えします。

参加メンバーは 5 名、うち 4 名がアマチュア無線家、最年長は 90 歳を迎える横浜市役所 0B の JG1RE0 局、そして JF1BTS 局、YSSC からは JN1CD0 局、JQ1UCA 局が参加。

7 月 31 日、10 時 30 分に富士山須走口を出発。途中雨にも見舞われましたが、持参したハンディ機で 430MHz のメインチャンネルをワッチしながら今夜の目的地、標高 3100m の本七合目の見晴館を目指します。関東一円から出される CQ を明瞭に受信でき、あらためて富士山の標高の高さを実感しました。5 時間かけて見晴館に到着、市役所 0B のベテランは 8 時間かかりましたが日没前に到着しました。YSSC メンバーは夕食まで山小屋前(2 駿東郡小山町移動)で移動運用ができました。雨が降る中での運用だったため、ログを取るのが一苦労でした。ハンディ 1W でも関東一円からお声がけいただきました。

【写真 上から】① 2 日目の宿「砂走館」前で記念撮影、②砂走館前からのご来光、山小屋の方からも非常に良いご来光と伺いました、③登頂途中で運用しながらうどんを食べエネルギーチャージ、④見晴館で FT3D を使用し運用、⑤下界を見下ろし運用する JN1CD0、⑥山小屋での夕食はカレーライスが定番、ビールもつけてもらい乾杯、⑦ベテラン JG1RE0、JF1BTS は日没間際に到着、疲労はピークでしょうが笑顔が印象的でした。⑧移動運用中に現れた虹、いいことがありますように。

今回の運用設備は登山のため非常に軽装備、FT3D や VX3 にホイップアンテナで 2.5W / 1W 出力でした。



8月1日、午前6時に見晴館を出発、いよいよ山頂を目指します。傾斜も大きくなり、足元も悪いですが一步一步と歩みを進めます。YSSCの2人は午前9時20分に無事山頂に到着、神社にお参りし御朱印をもらい、ベテランが到着するまでお待ちかねの山頂での移動運用です。

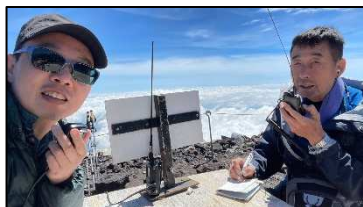
この日は好天に恵まれ、気温は9度、ダウンを羽織りながらも日差しは強く、日焼けしてしまいました。2人で交互にサービス(/1 山梨県富士吉田市)し、途切れなく84局の皆さんと交信することができました。

平日でもあり無免許のトラッカーたちがすべてのチャンネルで運用していましたが、なんとか空きチャンネルを見つけCQを出し続けました。およそ3時間運用しているとベテラン各局も無事に山頂に到着。

午後1時半には山頂を離れ、富士山頂郵便局に立ち寄り、御殿場口に向けて下山を始めました。ごつごつした岩や石に足元を取られながらもゆっくりと下山し、午後5時には今夜の宿、砂走館に到着しました。午前中とは変わり大変強い風が吹く中での下山でした。翌朝まで強風が続き、山小屋前での移動運用は断念しました。驚いたのは横浜市役所無線クラブのメンバーJH1AIL 芦野氏と同じ砂走館に宿泊していたのでした。翌朝、山頂に向かわれるとのことでした。

最終日、8月2日は午前7時に砂走館を出発、途中、砂走りを離れ、宝永の大噴火でできた山、宝永山、宝永火口経由で御殿場口に下山しました。3日間ずっとワッチしていて感じたことは、富士山の地上高をひしひしと感じたことでした。関東の固定局、モービル局がローカル局を呼ぶ声が絶え間なく受信できたことで、これは大変な驚きでした。YSSCの2人は初めての富士登山でもとも困難な登頂でしたが、充実した登山でもありました。

【写真 上から】①富士山頂から運用、パイルを捌くのが大変でした、②山頂の神社で記帳すると70歳以上の方には扇子がもらえ笑顔のJG1RE0、JF1BTS、③山頂でYSSCの旗を掲げるJQ1UCA、④横浜市役所無線クラブの旗を掲げるJG1RE0、JQ1UCA、⑤宝永山山頂での記念撮影、ここは何もない場所、かつてここで移動運用された方がいたとか、⑥山頂でYSSCの旗を掲げるJN1CDO、⑦山頂の石柱で笑顔のJQ1UCA、⑧山頂で運用JQ1UCA、サングラスが必需でした。



毎年恒例、埼玉県比企郡ときがわ町堂平山にて移動運用を行いました。今回参加のメンバーは JQ1UCA, JK1WQE, JI1DXJ, JF1PMF, JN1CDO, JP3MOS/1, JF6AYW/1, JL1KBS(順不同)です。

各メンバーは自家用車5台に分乗し、横浜から現地に向かいました。431.86MHz にて連絡を取り合いながらの走行です。坂戸西インター近くで夕飯と明日の朝食食材等を買出し、向かいます。あるメンバーは車でアンテナポールを固定する「ふみたて君」を持参する担当でしたが、持参し忘れたものの、なんと途中の青梅市近隣で高速道を降りて無事調達に成功!! 素早い対応に他メンバーからも称賛を浴びていました(笑)。

現地に到着後、メンバーは麓で買ったお弁当やドーム入口で営業をしている「オーガニックキッチン」の女将さんお手製のカレーで充電します。

その後、アンテナ設営。アンテナはドーム外の駐車スペースで主にマイカーに踏みたて式ポールを立ち上げての運用スタイルです。お揃いのポロシャツを着て 3.5、7、10、21、50、144、430、1200MHz と次々上げていきます。みんな手馴れているため設営にそれほど時間はかかりませんでした。

ドーム内へ入り、1階に各無線機等を展開します! JI1DXJ 局は 5.6G 等ギガ帯の設備を野外で展開、その他のメンバーは 3.5~1200MHz にて、モードは CW, SSB, FM, FT8 で 14 時過ぎからオンエア開始です。

今回は当クラブの創立 40 周年を記念しオリジナル Q S L カードを発行するため、極力クラブコールでのオンエアに努めました。各メンバーが得意とするバンドやモードで積極的にオペレートしました。

関東一円を守備範囲とする場所であることから、相手局に困ることはありません。若手会員 JP3MOS/1(YL 局)もパイルアップにもめげず奮闘し 50 局と交信、その他のメンバーも各バンドでオンエアし、トータル約 260 局と交信できました!

今回、お声がけいただいた各局、ありがとうございました。YSSC 創立 40 周年の記念 QSL カードは JARL ビューロー経由で ONE WAY 発送いたしました。今しばらくお待ちくださいね!!

【写真 上から】①堂平山天文台外に設置したアンテナ、VUHF の GP、50MHz のループ、21MHz の V 型ダイポール、②室内の様子、窓の外は都心、夜間は夜景を眺められる、③2.4GHz、5.6GHz は屋外での運用、④GP アンテナ設置の様子、複数で行えばモノの数分で設置完了。



ゴールデンウィークの好天に合わせて厚木市の鳶尾山に移動運用に行ってきました。予定では経ヶ岳に登る予定でしたが、参加局が直前に2名キャンセルになってしまい、一人分の荷物が重くなってしまったことから手軽に登れて前から行ってみたかった鳶尾山に行先を変更しました。参加者は7K3DBJ、JQ1UCAでした。

小田急本厚木駅からバスで鳶尾団地まで向かいます。ここから30分ほどでまずは鳶尾山展望台に到着です。山頂ではないですが展望台からは横浜ランドマークタワーや東京タワーも見えます。ベンチなどもあり、一瞬「ここでの運用でいいんじゃない」とも思ったほどでした。春霞で確認できたのは横浜ランドマークタワーだけでしたが気持ちの良い眺望でした。

展望台に上って素晴らしい景色を堪能したあとは、さらに30分ほど林の中を歩いていくと日本初の一等三角点のある鳶尾山山頂に到着です。連休でもあり比較的多くのハイキング客が訪れていました。

ベンチを確保し、カメラ三脚に430MHz 3エレ八木を取り付けて都心方面に向けハンディ機(FT-3D)で運用をスタート。早速都内の駅前QRVの局と交信。地元相模大仏祭り会場の運用局や丹沢各地から波を出す局とも交信。

7K3DBJ局は実は交信をするのは今日がはじめて。JJ1ZB0のコールサインで運用していただきましたが、用意したオペレーションマニュアルを見ながらチャレンジしていただきました。初めてとは思えないほどスムーズな運用をされていました。「心臓バクバクでした」と言っていました。すぐに慣れていただけるようなオペレートでした。

3時間ほどの運用で30局ほどと交信ができ大満足で下山。帰りはまつかけ台バス停側に下山し、バスで本厚木駅に戻り、ビールと餃子で打ち上げしました。

【写真 上から】①鳶尾団地内のハイキングコース入口の看板、②鳶尾山展望台はハンディ運用なら可能、③展望台から横浜方面の眺め、低山だが気持ちよい、④今回使用した430MHz 3エレ八木、汗でぬれたシャツを干す、⑤参加した2人、想像以上の電波の飛びに満足したのか、ハンディ片手に笑顔が弾ける。



満開の桜の下での移動運用、実はお花見がメインかもしれませんが、お酒も楽しみながらの移動運用も楽しいですよ。今回は横浜市の桜の名所、大池公園(こども自然公園)で移動運用しました。

参加者4名がそれぞれ機材をカバンに背負って集まり、7・10・28・50・144・430MHzと各バンドで運用しました。肌寒い一日でしたが、コンディションは良く、HFはIC-705 10W運用でしたが8エリアを除く全エリアと交信でき、あと1つで1DAY AJDは逃しましたが、大満足の成果でした。VUHFも高台での運用だったこともあり、IC-705を使用し50MHzは多くの局数を稼ぐことができました。144・430MHzは手持ちのハンディトランシーバーを外部アンテナに接続して使用しました。

アンテナは、HFはCQオームで販売しているカーボンロッドアンテナを初めて試しました。しかし、下見をしていなかったことから、ポールを取り付ける場所が付近にないことが判りました。このような情報も事前に収集しておくのとアンテナ設置で困ることはないでしょう。今回は仕方なく持ってきた台車の取っ手に強引に括り付けなんとか使うことができました。50MHzはカメラ三脚にロッドアンテナ型のポケットダイポールを取り付け安定した運用ができました、144, 430MHzは小さな八木アンテナを設置し運用しました。

参加者はお酒やおつまみを楽しみながらのんびりと移動運用を楽しみました。飲み過ぎてオペレートできなくなったメンバーもいましたが…それらもご愛敬です。(笑)

【写真 上から】①こども自然公園の桜、花見の中のオペレートは交信内の話題にもなる、②運用したIC-705にモバイルバッテリーをつなげば10W運用が可能になる。③来園者に配慮し小さなアンテナをベンチの周りに展開する。④参加した4名のメンバー、⑤これは移動運用なのか花見なのか、お酒やおつまみが無線設備よりも所狭しと並ぶ。



お天気に恵まれポカポカ陽気、当初は「極寒無人島でバーベキュー(2月の極寒時期でレンタル料が無料というキャンペーンに誘われて来島)」なんて言っていました、上着いらずでお天気は良かったです。

京急横須賀中央駅から徒歩で三笠公園に集合。渡し舟というか立派なフェリーに乗り込み、僅か10分で猿島に到着です。

すぐに無線は始めるべきですが、バーベキュー場の道具の貸し出しが10時からなので、運用ができません。そこで、ガイドツアーで島内一周。猿島は東京湾の無人島、戦時中の砲台や弾薬庫、レンガ積みの倉庫などを見学。トンネルを抜けると東京湾が一望できました。およそ1時間島内を散策。こちらも大満足。

海岸に戻りバーベキューセットを借り、無線設備とBBQ設備を並行して設営、点火!!同時にスタート。JI1BPM局・奥様ご用意のコールスローサラダとポテチをからめたサンドイッチにまず感動。次いで炭火で焼いたパテとチーズ、野菜などを使った「横須賀ネイビーバーガー」を手作り。とってもおいしいハンバーガーでした。もちろんお肉も焼きましたよ。

無線設備は手で運んできたため、軽量化を心がけました。無線機はIC-705とFT-818、モバイルバッテリーを外付けし長時間の運用をすることができました。

アンテナはHFはカーボンロッドアンテナを柵に固定し、50MHzはロッドアンテナタイプのポケットダイポールをカメラ三脚に取り付けました。ほぼ海拔のない場所だったこと、パワーがない無線機使用のせいか釣果はイマイチでしたが。横須賀近郊の局と交信することができました。参加した8名は大満足の日でした。

【写真 上から】①フェリーからの猿島、無人島に向かうとのことで心が躍る。②島内ツアーで東京湾に開けた島の突端、眺望は素晴らしかった。③ツアーで解説があったレンガ積みの通路。④手作りの横須賀ネイビーバーガーが最高に美味しかった。⑤運用するJP3MOS局。⑥ポケットダイポールを設置するJN1CDO局。⑦砂浜に設置された猿島 SARUSHIMA オブジェで記念撮影。



東京都八王子市と神奈川県相模原市緑区の県境にある景信山にて移動運用を実施しました。

JF6AYW/1, JP3MOS/1, JN1CD0, JQ1UCA, JL1KBS の5局が参加メンバー、J R 高尾駅北口に 8 時 20 分集合、8 時 32 分の小仏行きバスに乗りました。小仏バス停からは、徒歩で登ります。

気温も肌寒くあいにく小雨がパラつく登山となりましたが、登るうちに汗だくになるくらい暑くなり 10 時半山頂到着。50, 144, 430MHz の各アンテナを設置し運用開始。山頂はじっとしているとやはり寒く、温かい汁ものが欲しくなります。

UCA 局の用意してくれたバーナーで湯を沸かしカップラーメンや、茶店のおでんやなめこ汁などで暖をとりながらの運用です。

2 時間ほどの運用でしたが、のんびりと 5 名でおよそ 40 局ほどとコンタクトできました。

景信山のあとは、小仏峠から小仏城山に登り、ここで小休止。ホットコーヒーやお店自慢の甘酒（南魚沼産米使用）などで身体を温めました。

さすがに名物かき氷は販売時期ではありませんでした（笑）（かき氷販売期間 4/29～9 月末（暑さと相談 10 月まで延長も）との情報）。

小仏城山からは千木良バス停へ下り、バスで相模湖駅へ。駅前のかどや食堂さんに立ち寄り、恒例の打ち上げ。

短時間ですがアルコールも入り当日の反省会を実施。一部ひざ痛等ありましたが全員無事に下山できました。運用ではコードの接触不良等アクシデントもあり、今後の課題も見えました。

新入会員も参加の山での移動運用、楽しくのんびり行いますが、今後も体力向上と運用技術向上を兼ねて続けていきます。

【写真 上から】①目的の景信山に着き満足そうな参加者。②樹林帯の中の登山道が長く続くがおしゃべりをしながら一歩ずつ歩いていく。③ポケットボールにホイップ設置、430MHz 3 エレの設営。④山頂のテーブルを使って運用する JN1CD0 局と JP3MOS 局。⑤相模湖駅前かどや食堂でビールと日本酒で乾杯。⑥IC-705 はこういう移動で本当に重宝する。小型軽量で 10W。



移動運用に行ってみよう!! YSSC が実際に運用した移動地を紹介

徒歩向け 円海山(えんかいざん)

山頂は標高 153m(横浜市磯子区 #110107)

JR 根岸線 磯子駅からバス「峰」下車、洋光台駅からバス「臼杵」下車徒歩 20 分。

山頂は立ち入りができない。近くには通称無線小屋と呼ばれるコンテナ、アンテナ群があるため、近くの「いっしんどう広場」での運用が良い。

ポール等を設置できる場所が少なく、木々が覆い茂っている場所が多いので、大型アンテナが展開できない。自販機やトイレは近くにある。



徒歩向け 港南台さえずりの丘公園

上記の円海山に隣接(横浜市港南区 #110111)

公園の標高は 100m ほど、JR 根岸線 港南台駅からバス「港南環境センター前」下車徒歩 15 分。

スポーツ広場に接する自然公園で、朝 9 時から午後 5 時(冬季は 4 時)まで入れる。小さな展望台からは富士山が眺められるほか、大きなアンテナも展開できる。大規模に展開する場合は公園使用許可を。車の立入不可。自販機やトイレはある。



徒歩向け 六国見山(ろっこくけんざん)

山頂は 147m(鎌倉市 #1105) 運用は山頂でなく手前の展望台。JR 大船駅東口から「高野台」行き終点下車、徒歩 20 分で六国見山森林公園。

自販機やトイレはない。ベンチなどは少ないので譲り合って使おう。大型アンテナの展開は不可。ハンディ機や小さなアンテナの運用に適する。



徒歩向け 塚山公園(つかやまこうえん)

(横須賀市 #1102) 最高点は 130m ほど。京急安針塚

駅から徒歩 20 分。見晴台からは横須賀港や横浜、房総半島まで望める。梅や桜の時期は観光客も多いので注意。鹿島台は人が少なく移動運用に適する。駅前の京急ストアの開店時間が遅いので注意。現地に自販機やトイレはある。HF 運用実績あり。



徒歩向け 鳶尾山(とびおさん)

山頂は標高 234m(厚木市 #1113)小田急線本厚木駅からバス「まつかげ台」下車徒歩 30 分。
山頂は広くベンチもある。ポールを括り付けるものが少ないので注意。ハンディや軽装備のアンテナで運用に適している。山頂から 30 分ほど歩いた鳶尾山展望台からの運用も良い。相模湾や横浜方向に開けている。自販機やトイレはない。



徒歩向け こども自然公園 (横浜市旭区 #110112)

最高標高は 90m ほど、相模鉄道二俣川駅から徒歩 15 分ほど。園内にはバーベキュー広場もあり BBQ & 移動なんて楽しみ方もできる。
YSSC では桜の時期に最高点のベンチを陣取り、花見をしながら移動運用を楽しんだ。写真のとおり HF の釣り竿アンテナを展開することもでき、どのバンドでも移動運用が楽しめる。ポールを括り付ける場所はあるがベンチから遠いので長い同軸ケーブルが必要。バーベキュー場はアンテナを展開しやすい。自販機やトイレはある。来園客が多いので運用の際は周りへの配慮も必要。



徒歩向け 猿島(さるしま 横須賀市 #1102)

京急電鉄横須賀中央駅から徒歩 15 分ほどの三笠公園から通船が出ている。10 分ほどで到着。YSSC ではバーベキュー場で道具を借り切り移動運用を楽しんだ。冬場はバーベキュー場が無料になることがある。現地は海岸の砂浜なので標高はない。VU より HF の運用に適していると思われる。
大きなアンテナも展開できるが、自立させる場所がない。自販機やトイレは近くにある。



徒歩向け 大山(おおやま) 山頂は 1252m(伊勢原市 #1115)

運用場所は山頂(写真)のほか、中腹の大山見晴台やケーブルカー終点の下社での運用実績がある。山頂はハイカーも多いため VU の運用が適す。茶店はある。移動運用のメッカのため競合は必至。
見晴台はトイレや売店はなく飲食物の持参が必要。のんびり運用の方はこちらがオススメ。



徒歩向け景信山(かげのぶやま)

山頂は標高 727m(相模原市緑区 #111001)

中央線高尾駅からバス「小仏」下車徒歩 90 分。裏高尾のハイキングコースにある山、ハイカーが多いため大きなアンテナの展開は厳しい。茶店も多く飲食物やトイレには困らない。冬場の移動だったので温かいおでんや汁物を摂りながら運用した。写真はハンディ機用のロッドアンテナで 144MHz、5 エレ八木で 430MHz を運用し多くの局と交信できた。



徒歩向け武山(たけやま) (横須賀市 #1102)

山頂は標高 206m、京急電鉄京急長沢駅または津久井浜駅から徒歩 90 分ほど。駅からの登山道には農作物の直売所などもありお土産には事欠かない。山頂にはトイレや自販機がある。写真は展望台に HF のモービルホイップを設置し 21MHzSSB で IC-705 でアメリカと交信成功、50MHz Δループアンテナでサービスした。



徒歩向け吾妻山公園(あづまやま)

標高は 136m(中郡二宮町 #11006A)、東海道線二宮駅から徒歩 20 分、駅前急坂、300 段の階段などを登ればすぐに山頂。駅の裏山という感じです。ベンチやテーブルも多数あるほか、自販機やトイレもある。この日は写真にある通り富士山と公園自慢の菜の花を眺めながら移動運用。IC-705 と 3 エレ八木で富士山ビームで多くの局と交信ができた。



徒歩向け湘南平(しょうなんだいら)

標高約 180m の高台(中郡大磯町 #11006B)、東海道線大磯駅から徒歩 60 分、または平塚駅からバス 20 分ほどで「湘南平」下車すぐ。バスの本数は一日数本なので時間には注意。なんとここでの運用のハイライトは写真の 50MHz Δループアンテナを設置し IC-705 で SSB で CQ を出したところ 11 月なのに突然オーストラリアからコールされてびっくりしたことを記憶している。展望台にはトイレ、軽食ができるレストラン、自販機などもある。駐車場もあるが台数も少なくまた駐車場やレストハウスのある展望台からの無線運用はできない模様(無線禁止の張り紙が掲示されている)。



徒歩向け 金時山 (きんときやま)

山頂は標高 1212m(足柄下郡箱根町 #11003C)

御殿場線御殿場駅からバス「乙女峠」下車徒歩 120 分。

車では仙石原から南足柄市に抜ける林道「はこね金太郎ライン」に入り金時見晴パーキングに車を停めて徒歩 60 分。南足柄市との境にある山、山頂には茶店やトイレもある。ベンチやテーブルもあるが数が少ないため譲り合って使おう。HF の運用は大きなアンテナは展開できない。どちらかといえば VU 向きだが富士山ビームでの運用がオススメ。この時は固定機を担ぎ上げ 144MHz5 エレ八木を設置しサービスした。



徒歩向け 鷹取山 (たかとりやま)

(横須賀市 #1102)

山頂は標高 139m、京急電鉄追浜駅からバス「たかとり小学校」下車 10 分。YSSC 創成期の移動運用を支えた山。大きなアンテナも展開でき、50MHz でエリア外の局との交信に何度も成功。コンテストで徹夜運用も行うなど三浦半島移動地ナンバー 1。トイレや自販機あり。



徒歩向け 二子山 (ふたごやま)

(逗子市 #1109) 山頂は標高 208m、横須賀線東逗子駅から徒歩 70 分。南郷上ノ山駐車場まで車で登ればそこからは徒歩 20 分。山頂には自販機やトイレはない。写真にあるとおり小さな展望台がありアンテナを立てることができる。ハイキング客も多いので邪魔にならないような配慮が必要。写真は 30 年前の写真、VUHF での運用実績は多数、展望台下を使用することができるので、シートを敷いて運用しよう。



徒歩向け 陣馬山 (じんばさん)

(相模原市緑区 #111001) 山頂は標高 855m、中央線藤野駅からバス「和田」下車徒歩 2 時間。ほかにも登山ルートは多数。富士山を眺めながらハンディ機を使った移動運用を楽しもう。トイレも茶店もあり運用には不自由はない。ハイカーが多いのでアンテナの設置などはある程度制限を受ける。YSSC ではカメラ三脚に 1200 MHz のループアンテナを付けハンディ機で交信を楽しんだ。



徒歩でも車でも 巢雲山(すくもやま)

(静岡県伊豆市 #1823)山頂は標高 581m、伊東線宇佐美駅から徒歩 2 時間、登山口までタクシーに乗ってショートカットすれば大幅に時間を短縮できる。他に伊豆スカイライン巢雲山パーキングに車を停めて登れば徒歩 15 分で山頂。この方法なら担ぎ上げも可能だ。

山頂には小さな展望台があるため、ハイカーに配慮しながら富士山側でない方角にアンテナを立てればよい。ベンチもあるため運用もしやすい。お天気が良ければ富士山が目の前にどーんと構える。50MHz Δループアンテナで多くの局と交信した。トイレはパーキングまで下らないとない。



徒歩でも車でも 大里予山(おおのやま)

(足柄上郡山北町 #11002E)山頂は標高 723m、御殿場線谷峨駅からハイキングコースで 2 時間、他に国道 246 号線から山頂直下まで車で行くことができる。山頂直下にトイレはある。丹沢に阻まれて都心方面の電波の飛びはイマイチと感じた。山頂では HF のアンテナも展開できる広々とした場所がある。駐車場でも踏み立てなどを使い大型のアンテナを設置できる。



車移動向け 堂平山(どうだいさん)

(埼玉県比企郡ときがわ町 #13008I)山頂は標高 876m、YSSC においてこの山は外せない。20 回以上訪れているし横浜から 3 時間かかっても魅力がある場所。大型のアンテナを展開でき、天文台内の宿泊施設を予約すれば室内で電源も利用しながら運用もできる。キッチンがあるので好きな食材を持参して自炊ができる。食器や調理道具、冷蔵庫もあるので不自由はない。すぐ下にはキャンプ場もあるのでそちらでの運用も可能。



車移動向け **湘南国際村**(横須賀市 #1102)
 標高 200m 近い丘にある広い未舗装の駐車場。横浜横須賀道路逗子インターから逗葉新道経由で「南郷トンネル入口」を左折、トンネルを出てひたすらまっすぐ坂道を登り「湘南国際村センター入口」を左折。登り切ったところにある大きな駐車場。なんでもできる移動地だが、テントの設営は認められていない。移動運用競合必至。HF から UHF まですべての運用に適した場所。トイレや自販機は少し下ったファミリーマートに。



車移動向け **城山湖**(しろやまこ)
 標高約 280m の人造ダム湖(相模原市緑区 #111001)
 圏央道相模原インターから県道 48・508 号経由で約 15 分で駐車場。ゲートの開場時間は 9 時から 17 時。
 湖に面した駐車場が運用場所、広い駐車場のため HF から UHF まですべての運用に適した場所。ポールを立てる「ふみたてくん」などがあるとよい。トイレは少し下ったコミュニティ広場にある。



車移動向け **大観山展望台駐車場** (アネスト岩田スカイラウンジ 駐車場) (足柄下郡箱根町 #11003C)
 標高は 1000m 弱。駐車場貸し切りを予約して利用するという自由な設営や運用を楽しめる。料金は麓のアネスト岩田ターンパイク料金所事務室で支払う。写真の通り広々とした駐車場を貸し切るので HF ダイポールの設営などもできる。トイレや飲食は徒歩で行けるレストハウスで済ませることができる。コンテストの運用なら予約しておこう。



車移動向け **滝知山馬駐車場**(たきちやま)
 (静岡県熱海市 #1805)
 伊豆スカイラインの同駐車場の標高は約 660m、大きなアンテナも展開できる伊豆箱根周辺ではもっともポピュラーな移動地。したがって競合の可能性も高い。トイレは熱海峠、食事は十国峠までいかないといけないため準備が必要。HF から UHF・SHF まで飛びは抜群。いつ行っても満足できる移動運用ができる。



車移動向け だるま山高原キャンプ場

(静岡県伊豆市 #1823) 駿河湾と富士山を望む達磨山の山裾、標高約 600mにある公営のキャンプ場。東名沼津 IC・新東名長泉沼津 IC より 40 分。オートサイト 12 区画/フリーサイト 8 区画あり。雨天時は隣接するバンガローもある。運用実績は 7MHz ダイポール、50MHz 八木、1200MHz 八木などを設置した。伊豆箱根を挟むので都心方面の飛びはイマイチと感じた。キャンプを楽しみながら移動運用をするのも楽しい。



車移動向け 和田長浜(わだながはま)

(横須賀市 #1102)三浦半島にあるソレイユの丘の下、相模湾に面した海岸。夏場は駐車場が有料のため運用できないが海水浴シーズン以外は砂浜に車を停めて運用ができる。トイレはあるが自販機は少し離れた場所ある。車のタイヤに踏み立てを踏ませて 50MHz の 5 エレを設置し DX との交信に成功。海拔 0 メートルであるから HF の運用に適した場所である。YSSC ではここでバーベキューをしながら移動運用を楽しんだ。



車移動向け 奥多摩周遊道路浅間尾根駐車場

(東京都西多摩郡檜原村 #10002D)標高 1000mを超える周遊道路内にあるパーキング。柵もありポールを固定することもできる。ゲートは朝 8 時(冬は 9 時)に開門するので早朝夜間はいれない。クラブでは記念局の運用時に行き大きな成果を出すことができた。大きなアンテナも展開できるため HF ももちろん標高があるため VUHF の運用にも適する。自販機やトイレはない。



車移動向け 日野公園墓地(横浜市港南区 #110113)

鎌倉街道日野公園墓地入口交差点からわき道に入り道なりに登っていくと現地。標高 50m 程の墓地内の中に少し広い通路があり駐車ができる。お彼岸の時期は混雑するので運用は不可能。現地は柵もあるため、ポールなども設置しやすい。ライセンスフリーの運用局も多く訪れる場所。24 時間入れる場所で深夜・早朝開催のコンテスト時の運用実績あり。墓地なので夜は怖い。自販機やトイレは少し下った墓地入口にある。



おまけ！ YSSC メンバーが移動運用に持参する㊄グッズを紹介します

IC-705 の画面は、太陽光に対して程良い角度でないと隅々まで見にくいので、JOBYのミニ三脚（ゴリラ）を取り付けて角度調整すると、見やすくなります。

【JK1UBI】



移動用のパドル。100 均で買ったスレートとマグネット用の補助板で手振れを防ぎます。

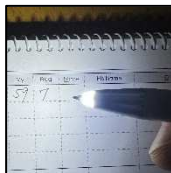
【JF1PMF】



なんと”スマホ”ショルダーです。中にはハンディ機を入れます。隙間からアンテナを出したまま、パッと取り出せ、落とさず安全。斜めがけできるので、少し重い機種でも、負担なく運べますよ。最近は色々なデザインがあるので、オシャレも楽しめちゃうかもしれませんね。【JP3MOS】



ZEBRA ボールペン「ライトライト (Lightwrite)」。
夜の移動運用の必需品、暗闇でもメモや紙ログに記入できます。【JI1BPM】



100 均の折りたたみ椅子を移動用パソコン台、ヘッドセットでマイク無しで手ブラで QS0、RHM12 をカメ三脚で使用しています。地面から近いと SWR が低くなるので！
こんな感じです。【JN1CD0】



アンテナマスト固定用くねくねソフトワイヤーです。マストを柵などに固定する時に便利。巻き付けてグイッと簡単に固定。自転車ペダルのトゥストラップも便利です。



ライト関係だとやはりヘッドライト。テント泊の夜間運用に重宝。堂平山のモンゴルテント移動でも活躍。



両手が空くのが最大のメリット。コンパス。実際の方位を知りたい時もあったりする。



世界時計。DX QS0 で現地時刻を知りたい時に。【JK1WQE】



固形燃料と小さなヤカンです。これで食事の準備は OK。

【JQ1UCA】



編集後記…移動運用の楽しさを満載、写真の多さを意識しました。写真を眺めて感じることは、空の青さが際立つものが多い。明日からの移動運用であなたもこの爽快感を体感しましょう。

移動運用 StyleBook2024～無線機持って海に山に！ この1年の移動を振り返る！～

著作／横浜シーサイドHAMクラブ 発行／2024年8月24日

本文・写真など内容の無断転用・転載・転売・複製を禁止します。

詳しくはクラブ公式 web <http://ysscyokohama.blog.fc2.com/>

